

渡川流域の四万十市内におけるマイ・タイムラインの取組事例

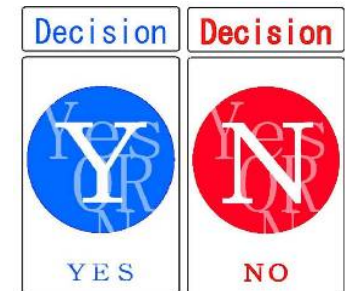
- 他機関連携の渡川流域タイムライン検討会において施設・機関の行動だけでなく、地区住民の避難行動を促すマイタイムラインの取組が提案され、モデル地区でワークショップを実施。
- モデル地区の住民へ避難活動を啓発するため、マイ・タイムラインの作成や、避難行動に関する意見交換会として、避難行動に関する質問を投げかけ、回答・理由を記入して頂いた。モデル小学校においても防災学習会を実施し、速やかな避難行動を促す取組を進めている。

■ 地区タイムラインを実践していくため、モデル3地区においてワークショップを実施。

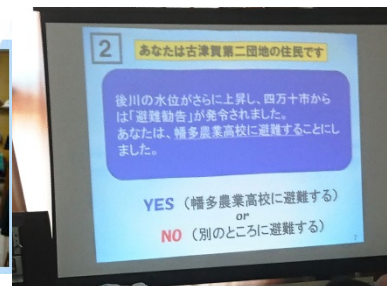
実施日	対象地区	対象者	内容
6月2日(土) (10:00～12:00)	古津賀 第二団地	住民 (約50名)	・ハザードマップの説明 ・マイ・タイムラインノートの作成方法 ・避難に関する意見交換
6月26日(火) (10:30～12:15)	中村小学校	4年生 (約40名)	・防災学習会 ・「逃げキット」の作成
7月21日(土) (13:30～15:30)	東町1丁目	住民 (約30名)	・西日本豪雨の概要 ・「マイ・タイムラインヒント集」の説明 ・避難に関する意見交換



- 避難に関する意見交換では、「いつ避難するか」、「どこに避難するか」、「どうやって避難するか」、「どこに避難するか」について質問を投げかけた。
- 意見交換では、質問に対して「Yes」or「No」の二者択一で回答して頂き、なぜ「Yes」、なぜ「No」を選んだかを付箋紙に意見を記入して頂く方法で意見聴取を行った。



YES、NOのカード



パワポで質問の投げかけ



理由を付箋紙に記入して意見交換

四万十市の減災に係る取り組み(平成30年度)

①マイ・タイムライン作成ワークショップの開催

各マイ・タイムラインの作成を市内全域に展開していくためのモデル事業としてワークショップを3か所(小学校1、地区2)で実施

開催日	場所	参加者数
6月2日	古津賀第2団地	約50名
6月26日	中村小学校	約40名
7月7日	中村東町	約20名



マイ・タイムラインノート



中村小学校



古津賀第2団地

マイ・タイムラインとは・・・

台風の接近や前線の発達に伴う集中豪雨によって河川の水位が上昇することが想定される時に、住民自身がとるべき標準的な防災行動(いつ・なにを・どうする)を時系列に取りまとめたもの。

②大雨災害に関する防災学習会を実施

市内の学校、施設、地区を対象に市ハザードマップを使用した学習会を25回開催すると共に、気象台による防災学習会、ワークショップの開催、内閣府との共催による学習会・訓練も実施。内閣府が推奨する災害・避難カードの作成に関する学習会も実施



市総合ハザードマップ



気象台による学習会

開催日	場所	参加者数	内容
25回	市内各所		ハザードマップ学習会
10月4日	東中筋中学校	約20名	気象台ワークショップ
10月20日	後川中学校	約20名	気象台ワークショップ
11月3日	富山地区集会所	約40名	気象台職員による学習会(市総合防災訓練で実施:内閣府との共催事業)
1月27日	東中筋小学校	約100名	気象台、国土交通省による防災学習会・防災訓練・災害・避難カードの作成(内閣府共催)



ハザードマップを使用した学習会



災害・避難カード

③要配慮者施設の避難確保計画の策定支援

市内対象施設128施設の現状調査を実施すると共に、策定支援を行い、**年度当初策定率約10%が年度末約40%に到達予定。**